



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 アートスパークホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,505	16.6	781	118.0	804	131.1	863	316.3
2020年12月期第2四半期	3,007	18.7	358	56.4	348	58.7	207	21.2

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 880百万円(316.0%) 2020年12月期第2四半期 211百万円(23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第2四半期	円 銭 26.46	円 銭 26.01
2020年12月期第2四半期	円 銭 6.36	円 銭 6.35

(注) 2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。

これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第2四半期	百万円 6,505	百万円 4,827	% 74.2
2020年12月期	百万円 5,638	百万円 4,020	% 71.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 4,825百万円 2020年12月期 4,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2021年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2021年12月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。

これに伴い2021年12月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,077	11.0	1,377	78.1	1,345	79.9	1,328	—	40.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社エイチアイ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期2Q	32,724,880株	2020年12月期	32,638,880株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	15,028株	2020年12月期	14,656株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期2Q	32,637,572株	2020年12月期2Q	32,601,264株

(注) 2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の配当及び連結業績予想について)

2021年7月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っております。

株式分割前の株式数を基準にした2021年12月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 2021年12月期の配当予想：1株当たり配当金 第2四半期末 0円 期末 12円 合計 12円
- 2021年12月期の通期の連結業績予想：1株当たり当期純利益 162円32銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動をトータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましても、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力しております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は3,505,672千円（前年同期比16.6%増）、営業利益は781,941千円（前年同期比118.0%増）となりました。

また、経常利益につきましては、助成金収入28,539千円を計上したこと等により、804,706千円の経常利益（前年同期比131.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当第1四半期連結累計期間に特別利益として関係会社株式売却益205,651千円を計上したこと、法人税等147,023千円を計上したことにより、863,768千円の親会社株主に帰属する当期純利益（前年同期比316.3%増）となりました。

なお、当社では、株主優待制度を通じて当社事業へのご理解を深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として株主優待制度を新設いたしました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間においては、子会社の株式会社セルシスが継続的に実施している、イラスト・マンガ・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」のインターネット上での全世界に向けたプロモーション効果等により、堅調な事業推移となりました。

「CLIP STUDIO PAINT」は、2021年4月にAndroid版の累計出荷本数が100万本を超え、2021年6月現在の全てのプラットフォームにおける累計出荷本数は1,356万本、そのうち70%以上が日本語以外の海外に向けた出荷となっております。また、毎月、「月次事業進捗レポート」で公表しております、「2020年1月を100%とした「CLIP STUDIO PAINT」サブスクリプションモデルの契約数進捗率」は、2021年6月には308%となり、堅調に推移しています。サブスクリプションモデルでのライセンス提供は、廉価な価格で利用開始の敷居を下げ、ユーザー数の増加を加速することができる反面、一括でまとまった金額のライセンス料を徴収する、買い切りモデルに比べ短期的には収益効果が低くなります。しかしながら、「CLIP STUDIO PAINT」への開発投資を続け、継続して利用頂くことで中・長期においては安定した収益が期待できるため、引き続きサブスクリプションモデルでのライセンス提供に注力してまいります。

当期も、ユーザー数拡大のため、「CLIP STUDIO PAINT」と、デバイスメーカーとのコラボレーションを実施しました。Chromebookユーザー向けに株式会社ワコムのWacom Intuosにグローバルでバンドルされ提供開始、新発売のSペン付属NotePC「Galaxy Book Pro 360」にグローバルでバンドルされ、「Tab S7/S7+」と接続できるセカンドスクリーン機能で作品制作を効率化しました。また、株式会社サードウェブのraytrekイラスト向けモデル3機種にもバンドルされました。

法人及び出版社との取り組みでは、「CLIP STUDIO PAINT for iPad」が、代々木アニメーション学院に採用され、大規模導入により、自宅でも学校と同じ環境で使用可能となりました。また、株式会社集英社の協力のもと、「CLIP STUDIO PAINT」にチーム制作機能を搭載、リモート環境で複数人でのマンガ制作がスムーズに行えるようになり、ニューノーマル時代におけるマンガ制作の環境を向上させました。この他、「CLIP STUDIO PAINT」に株式会社小学館、株式会社KADOKAWAの商業印刷用入稿テンプレートを搭載、既に搭載済の株式会社集英社、株式会社講談社を含む出版各社と協力し、マンガ家のデジタル入稿支援の取組みの強化を行っております。今後もユーザー数拡大に向けた施策に注力してまいります。

電子書籍ソリューションでは、電子書籍ビューア「CLIP STUDIO READER」が、株式会社エイシスが運営する「DLsite comipo」に採用、電子書籍制作ツールではゴマブックス株式会社に採用されました。

以上の結果、売上高は2,971,498千円（前年同期比31.7%増）、営業利益は1,018,144千円（前年同期比29.3%増）となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、車載向けソフトウェア開発プラットフォーム「CGI Studio」（シージーアイスタジオ）及びHMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「UI Conductor」（ユーアイコンダクター）を中心とする自社IP製品の開発に注力しております。

当第2四半期連結累計期間では、Candera GmbHが、世界的な自動車部品メーカーであるVarroc Engineering Limited

(以下:Varroc社)と、Varroc社のTFT(Thin Film Transistor)メータークラスター開発のためにHMI(Human Machine Interface)技術を共有する戦略的提携を行う旨の基本合意書を締結しました。

イベントでは、オンライン開催の「MATLAB EXPO 2021 Japan」にコネクション・プログラムパートナーとして出展、同じくオンラインで開催された自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展 2021 ONLINE」に出展し、「CGI Studio」最新バージョン3.10やEV用メータークラスターを初公開しました。

上記のとおり「CGI Studio」の積極的な営業推進を継続して行っております。

また、今後はさらに多くの顧客を獲得するために、自動車関連だけでなく産業・民生機器等、幅広い分野でご利用いただける次世代のHMIソリューションの開発も進めております。

以上の結果、売上高は526,174千円(前年同期比29.9%減)、営業損失は273,594千円(前年同期は469,116千円の営業損失)となりました。

なお、2021年12月期第1四半期累計期間において、連結孫会社であった株式会社エイチアイの全株式を株式会社ミックウェアへ譲渡したため、同社の数値につきましては当第2四半期連結累計期間の連結貸借対照表から除外されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて867,550千円増加し6,505,829千円となりました。この主な要因は、売掛金が51,332千円、技術資産が51,155千円減少したものの現金及び預金が731,582千円、未収入金が226,898千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて60,322千円増加し1,677,925千円となりました。この主な要因は、未払金が25,811千円、未払法人税等が95,815千円減少した一方で前受金が107,580千円、賞与引当金が102,398千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて807,227千円増加し4,827,904千円となりました。主な要因は、利益剰余金が782,208千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、74.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月28日付にて開示いたしました「2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にありますとおり、2021年12月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本件リリースをご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,923,860	3,655,443
売掛金	474,833	423,500
製品	8,661	13,518
仕掛品	37,577	24,635
原材料及び貯蔵品	13,353	29,381
未収入金	303,844	530,742
その他	107,081	123,332
貸倒引当金	△3,193	△214
流動資産合計	3,866,018	4,800,341
固定資産		
有形固定資産		
建物	136,377	137,106
減価償却累計額	△38,189	△43,611
建物(純額)	98,188	93,494
工具、器具及び備品	349,919	280,818
減価償却累計額	△239,080	△185,249
工具、器具及び備品(純額)	110,839	95,568
有形固定資産合計	209,027	189,063
無形固定資産		
ソフトウェア	807,314	816,328
ソフトウェア仮勘定	—	629
顧客関連資産	89,731	75,926
技術資産	332,511	281,355
その他	64,465	69,740
無形固定資産合計	1,294,023	1,243,981
投資その他の資産		
投資有価証券	19,869	24,912
敷金及び保証金	167,188	166,137
繰延税金資産	63,662	61,912
その他	18,489	19,480
投資その他の資産合計	269,210	272,442
固定資産合計	1,772,260	1,705,487
資産合計	5,638,279	6,505,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,644	123,282
未払金	163,953	138,142
前受金	392,289	499,870
未払費用	165,458	152,273
未払法人税等	260,605	164,790
返品調整引当金	557	1,768
賞与引当金	68,025	170,424
その他	125,061	92,899
流動負債合計	1,295,597	1,343,451
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,900	126,010
退職給付に係る負債	192,494	206,304
その他	2,610	2,159
固定負債合計	322,005	334,474
負債合計	1,617,602	1,677,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,495,191	1,501,555
資本剰余金	974,318	980,682
利益剰余金	1,535,615	2,317,823
自己株式	△3,738	△4,019
株主資本合計	4,001,385	4,796,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,206	9,890
為替換算調整勘定	4,713	19,099
その他の包括利益累計額合計	11,920	28,990
新株予約権	7,370	2,872
純資産合計	4,020,676	4,827,904
負債純資産合計	5,638,279	6,505,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	3,007,356	3,505,672
売上原価	1,470,377	1,631,079
売上総利益	1,536,978	1,874,592
返品調整引当金戻入額	1,535	557
返品調整引当金繰入額	130	1,768
差引売上総利益	1,538,383	1,873,381
販売費及び一般管理費	1,179,771	1,091,440
営業利益	358,612	781,941
営業外収益		
受取利息	42	351
受取配当金	12	6
助成金収入	-	28,539
その他	0	3
営業外収益合計	56	28,900
営業外費用		
為替差損	8,431	4,462
その他	2,089	1,673
営業外費用合計	10,520	6,135
経常利益	348,147	804,706
特別利益		
関係会社株式売却益	-	205,651
新株予約権戻入益	-	434
特別利益合計	-	206,085
税金等調整前四半期純利益	348,147	1,010,792
法人税等	140,640	147,023
四半期純利益	207,507	863,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,507	863,768

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	207,507	863,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△778	2,683
為替換算調整勘定	5,005	14,385
その他の包括利益合計	4,226	17,069
四半期包括利益	211,733	880,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,733	880,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,256,381	750,974	3,007,356	—	3,007,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16,513	16,513	△16,513	—
計	2,256,381	767,488	3,023,870	△16,513	3,007,356
セグメント利益又は損失(△)	787,458	△469,116	318,341	40,270	358,612

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,971,498	526,174	3,497,672	8,000	3,505,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,971,498	526,174	3,497,672	8,000	3,505,672
セグメント利益又は損失(△)	1,018,144	△273,594	744,550	37,390	781,941

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「UI/UX事業」を構成していた株式会社エイチアイの全株式を譲渡したため、株式会社エイチアイを連結の範囲から除外しております。なお、前連結会計年度末において、当該資産は「UI/UX事業」セグメントに597,765千円計上されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。